

## 意見陳述書

令和3年4月21日

原告株式会社王王軒

代表取締役 近藤



私は、藍住町にてラーメン店を経営しております、王王軒創業者の近藤純と申します。この度は、意見陳述の機会を与えて頂きましてありがとうございます。

私は徳島ラーメンをはじめて23年目となります。同じく徳島ラーメンを愛する[ ]の石井店とあわせて20人ほどの従業員が働いています。私がここまでやってこれたのも、[ ]や20人もの従業員の多大な支えがあったからだ感謝しております。従業員の中には開店当初から20年も勤続して下さっている、年齢70代を超える方々もおられます。今の私があるのも、この方々のおかげだと思っております。

昨年3月に未知のウイルスである新型コロナが全国に感染拡大をし、徳島県にも拡がりを見せはじめました。私のお店も3月下旬ころから、売上が落ち、第一波と呼ばれる6月頃まで、今までに経験したことのない経営悪化と多額の赤字を出しました。

しかし、7月に入り、GOTOキャンペーンなどもあり少しずつですが経営が回復し始めました。例年8月の夏休み期間中が一番の繁忙期となりますので、8月に向けて臨時の従業員を増やすシフトを組んでいました。

ところが、7月30日木曜日（定休日）の朝、徳島保健所から突然電話連絡があり、コロナ感染者が7月26日の夕方に20分ほど店に立ち寄られた、感染拡大防止のため会見で知事が店名を公表する可能性がありますと告げられました。

私は、大変驚いたのですが、コロナのことで店名が公表されると風評被害は計り知れないことになるかと判断し、困ります、辞めて下さい、と即答しました。今現在も既にコロナの第一波でお店の経営はかなりダメージを受けていま

す、8月も臨時の従業員のシフトも組んでいるので、休ませる訳にはいかない、店名公表がなされるとお店が大変な状況になってしまう、石井店の[ ]にも迷惑をかけてしまうので、絶対にやめて下さい、と担当者に頼みました。

担当者は、知事の権限ですので何も言えないとのことでした。

そこで、私は知事さんに店名公表はやめて下さい、公表しないようにお伝え下さい、知事の耳のそばまで行き、しっかり伝えて下さいねと、何度も何度も電話を切る直前までお願いしました。

結局、その日の段階では、店名までは公表されず、感染者が「藍住町の飲食店」に立ち寄ったという表現まででとどまり、私は少し安堵しましたが、藍住町の飲食店全体に影響があると思うと胸の痛い思いもしました。

ところが、翌日31日の知事の会見で、店名が公表されてしまい、恐ろしいくらいの失望感と恐怖感に襲われ途方にくれてしまったことを今でも思い出します。知事による店名公表後、私の心境と同じく、嘘かのように客足がぱったりと止まり、翌日の土曜日からは更に言葉に表せない状況が待っていました。ここは危険地帯か、縄でも張られているかのような空気があり、本当に苦しい時間が続きました。終息のみえないコロナ禍の現在、店名公表の頃ほどではないにしても苦しい時間は今も続いています。

私は保健所に電話をし抗議をしました。そして謝罪とPCR検査で従業員が皆陰性であったことを求めましたが、応じて頂けませんでした。

当日の店名公表以外の保健所側の対応にも疑問はあります。確かに30日の電話で現場確認と消毒指導のためのお店への訪問の話があり、その日はお店が休みでしたが、同日夕方と翌日朝であれば対応ができると伝えましたが、保健所の担当者は他にもたくさんの業務があり、その時間に訪問することはできないとのことでした。結局、私たちがPCR検査にうかがった際に駐車場で消毒指導を受けました。

また、PCR検査についても、お店が休みの日でもあったことから、私は従業員全員を連れて行きますと言いましたが、保健所の担当者は、すでにたくさんの検査があるとのことで、当初は、今日は受けられない、また別の日に個別に検査を受けにきてくださいと言われました。私は、自分や従業員のコロナ感染が心配だったので、保健所にどうしても本日中に受けさせて欲しいと頼み込ん

で、ようやくドライブスルー式でPCR検査を受けることができました。全員が陰性でした。

県は、まるで私だけの都合で訪問ができなかったかのように言いますが、保健所の側も逼迫していて都合がつかなかったのです。知事の権限で店名公表をするかもしれないという事態なのに、現場確認・消毒指導の訪問もできず、PCR検査も後日にしてほしいなどということはありませんでしょうか。私は、PCR検査を当日に頼み込んで受けていて本当によかったと思っています。私も、店からクラスターが発生したり、店の従業員や他のお客様からも感染者が出たというのであれば、店名公表もやむを得ないと覚悟はしていたのです。

そして、前日にPCR検査で全員陰性と確認されているのに、なぜ店名公表をしなければならないのでしょうか。また全員陰性であったことはなぜ伝えないのでのでしょうか。県には県民の命と安全を守る義務があることはわかりますが、私にも石井店を含めて従業員やその家族を守る義務があります。PCR検査で安全が確認されているのであれば、公表の必要などなかったはずですが、県は公表をすることで失われるもののことを全く考えないのでしょ

店名公表から約9か月が経過しております。第4波とも言われるコロナ禍の中で、私の本店も、■■■■の石井店も大変苦しい経営状況が続いています。特に開業から3年足らずの石井店はいつ閉店してもおかしくない状況となっておりますが、それでもコロナ終息を願い、それぞれ必死に頑張っております。私の本店の店名公表により、■■■■の石井店にも苦しい思いをさせ大変申し訳ないと思っております。

コロナ対応に追われている徳島県知事や保健所などが大変なご苦勞をされていることはわかります。しかし、私は店名公表に同意をしたことなどありません。事実と違う説明を繰り返されたことは、非常に悲しく残念です。

私が知る限りでは、感染者やクラスターが発生した飲食店はともかく、感染者が短時間立ち寄っただけの飲食店で店名公表はなされていないと思います。徳島県だけでなく日本全国には感染者が立ち寄った飲食店というものは多数あるはずですが、なぜ私のお店だけが店名公表されたのか、とても不公平に感じます。

そして、徳島県からは、これまで謝罪はもちろんのこと、心配の言葉、思いやりの言葉、ねぎらいの言葉の一つすらありません。そのことがとても悲しいです。徳島県は、飲食店で必死に働いている人の経営や生活のことなどたいし

たことないと軽く考えているのではないのでしょうか。今からでも遅くはないので、過ちを認めて、飲食店をはじめ県民一人一人に誠実に向き合われることを願っております。

以 上